



弓削商船だより

西垣 和書

第54号 平成14年11月

弓削商船高等専門学校

〒794 - 2593 愛媛県越智郡弓削町下弓削1000
TEL 0897 - 77 - 4620 FAX 0897 - 77 - 4693
ホームページアドレス <http://www.yuge.ac.jp/>



目 次

交通事故に注意.....	1
平成14年度商船学科卒業式.....	2
商船学科卒業生の感想.....	3
商船学科卒業研究テーマ.....	3
商船学科席上課程修了式.....	3
大学編入学内定状況.....	4
弓削商船高専編入学試験.....	4
インターンシップ・実習企業一覧.....	4 ~ 5
実習受講者の感想.....	5
資格試験等合格者.....	6
プロコンに参加して.....	6

クラブ活動状況.....	7
各大会のクラブ写真.....	7
クラブ活動成績.....	9
講座受講者の感想.....	11
公開講座実施一覧表.....	12
ロボットコンテスト開催にあたって.....	12
全国高等学校 IT 簿記選手権大会	13
留学生卒業旅行.....	14
平成14年度後期級長・副級長一覧.....	14
校内体育大会.....	14
学寮大掃除.....	14

「交通事故に注意」

学生主事補 横 田 臣 博

本校は2年生から最寄の港までの（弓削島を除く）通学を原付二輪に限って許可をしていて、現在、通学生の大多数がオートバイ通学をしている状況です。本校における過去5年の交通事故件数は次の



表に示すとおりですが、平成10年度からほぼ同じ件数で推移しています。しかし、依然として原付二輪の事故が圧倒的に多い状況です。発生時刻は通学時間帯がほとんどで、事故原因としては前方不注意によるものが大半を占めています。そのほとんどが相手方と接触して転倒してケガをしています。ケガの程度は擦過傷、打撲が大半で、骨折にまでいたる事故はこの5年間で数件程度となっています。また、学生の生命にかかわるような重大な事故はこの数年おきていません。このことは、事故時に全員がヘルメットの着用をしており、頭部などへの重大なダメージを未然に防止できたことによるものと考えられます。

接触事故の多くは対自動車のケースでこの場合、相手方にケガをさせることはありませんが、相手方が自転車、原付二輪で相手方のケガが学生本人よりも重傷であったケースもあります。この2年の間に起きた二件の事故で、不可抗力といった不運な状況下ではありましたが、結果的に相手方が死亡するに至りました。このため全校集会において学生主事から全学生に改めて注意、指導がなされました。

学生に対しては普段から交通ルールの遵守、マナー向上を訴えかけていますが、若さと経験不足および通学時のあわただしさなどの関係から、事故をまったく無くする事は困難です。通学時間帯に港周辺で交通指導を行ったり、バイク講習会を継続して実施して、意識高揚に努めていますが、ホームルーム活動での指導などさらに効果的な指

導方法を考えていかなければならないと思われます。また、通学時以外のプライベートな時間帯における運転や任意保険加入の徹底など保護者に御協力をお願いしなければならない面もあります。両者の協力を密にして事故の防止をはかりたいものです。

最近の交通事故（本校学生にかかわるもの）の統計

過去5年間の交通事故件数

年度	使用車両 自転車	原付二輪	自動二輪	自動車	その他	計
平成10年	0	5	1	1	0	7
平成11年	0	4	1	0	0	5
平成12年	1	5	0	0	0	6
平成13年	1	1	1	2	1	6
平成14年 10月1日現在	0	3	0	0	0	3



平成14年度商船学科卒業式



本校第二体育館において、9月20日(金)午前10時30分から、商船学科10期生25名、留学生1名をはじめ、来賓、保護者、教職員、在校生の列席のもと「平成14年度商船学科卒業式」が挙行された。

純白の制服に身を包んだ卒業生たちは、いずれも緊張の面持ちで西垣校長から卒業証書を受け取っていた。その後、校長の式辞が読み上げられ、また弓削町長をはじめとする来賓の祝辞を受けた。山本航平学生会長(商船学科4年)が「卒業されてもそれぞれの道でしっかりがんばって、どこかでお会いしたら気軽に声をかけてください」との言葉を卒業生に送ると、柏原薫君が卒業生を代表して「荒波に負けないようにしっかりがんばります」と力強い答辞を述べた。

式の最後に、見世博道君が大きな声で「ゴキゲンヨー」と発声すると卒業生の持っていた帽子が一斉に空中に舞い上がり、名残を惜しみながらも滞りなく式典は終了した。

商船学科卒業生各賞受賞者

「特別精励賞」

航海コース 柏原 薫

機関コース 木曾 理沙

「精励賞」

航海コース 大林 浩、久保 克善、
重竹 誠二

機関コース 金子 大輔、黒飛 岳大、
箱崎 純一、山岡 竜也、

THEIN HTIKE

「体育功労賞」

【カッター部】 菅 慎太郎、久保 克善、
重竹 誠二

【野球部】 金子 大輔

【柔道部】 木曾 理沙

【卓球部】 黒飛 岳大

【陸上部】 立林 磯一

「文化功労賞」

【ロボット製作部】 織部 弘

「特別賞」

【剣道部】 THEIN HTIKE

「日本船員奨学会賞」

航海コース 菅 慎太郎

機関コース THEIN HTIKE

「日本航海学会奨学褒章」

航海コース 石川 雅孝、重竹 誠二

「日本造船学会奨学褒章」

航海コース 柏原 薫

機関コース 金子 大輔

「全日本船舶職員協会賞」

航海コース 久保 克善

機関コース 脇坂 幸造

「日本マリンエンジニアリング学会

優秀学生奨励賞「山下勇賞」

機関コース 黒飛 岳大

「軽金属学会中国四国支部奨励賞」

機関コース 木曾 理沙

平成14年度商船学科就職内定状況

航海コース

平成14年10月31日現在

会 社 及 び 大 学	海上・陸上
旭タンカー	海 上
沖野海運(徳島)	海 上
石崎汽船	海 上
内海曳船	海 上

他大学編入学者6名、海上保安庁受験者1名

機関コース

会 社 及 び 大 学	海上・陸上
商船三井	海 上
キャプテンライン	海 上
新和内航海運	海 上
小豆島急行フェリー	海 上
医療法人 せのがわ	陸 上
安芸海運(二級合格待ち)	海 上
阪九フェリー	海 上
村上秀造船	海 上
ジョンソンコントロール	陸 上
前川製作所	陸 上
ハタシ	陸 上

他大学編入学者3名、海上保安庁受験者1名



商船学科卒業生の感想

弓削商船卒業までの3年間

商船学科10期生 THEIN HTIKE

私は3年前自分の専門である商船科（機関）を勉強するために弓削商船高等専門学校に入学しました。

日本語の勉強の為、東京に1年間居た私にとっては弓削島はビックリする程の田舎でした。フェリーがないと島に渡ることでもできないし、夕方6時以降になるとどの店も閉まってしまいます。しかし、少し住んでみると静かで勉強するためには最適な場所であり、またなかなか今の日本では見られない景色が有ることに気が付きました。

学校に入学した当初はこの島で暮らすには様々な点から見てとても暮らし難いのではないかと感じていましたが、時間の経過とともに自然と島の暮らしにも慣れ、特に不便を感じることなく生活することが出来るようになりました。また、学校の部活として剣道部に所属し剣道をやり始めた私にとって、スポーツをやる場としても弓削島はとても良い環境である事が分かりました。毎日、学校と部活が面白くて仕方ありませんでした。

弓削町の人々は私のような留学生に対しても優しくしてくれた為に学校だけでなく、町民の人々とも交流ができ楽しい学生生活を送ることが出来ました。町民の方々の中には、私たち留学生をまるでホストファミリーの様に接してくれる人達もいて、色々と困った事の相談に乗ってくれたり、日本の文化や礼儀についても教えてもらうことが出来ました。

5年生になり席上過程を終了した私は1年間の航海実習に行くこととなりました。船という限られた空間の中で、他の学校の人達と一緒に暮らし、一緒に勉強し、一緒に実習をした事は一生忘れられない経験に成ったと思います。実習では学校で習った知識を深め、船で生活する船乗りの苦しさ、厳しさを味わいました。機関士になるための勉強だけでなく、これから社会に出るのに大切な様々な人との付き合い、人間関係についても多くを学ぶことが出来たと思います。また、外国の地へと航海することにより、日本以外の国々の文化、社会、経済を垣間見る事ができ良かったです。なにより現地の人々と触れ合うことが出来た時の感動は今でも忘れません。

今となれば長かった航海実習も終わり、弓削商船高等専門学校を後わずかで卒業となります。振り返ってみれば卒業までの3年間は私のこれからの人生において大切なことを学校から、弓削島の人々からまた、実習から習うことが出来て日本への留学は人生のベストチョイスだったと思います。



商船学科卒業研究テーマ

発表テーマ	卒研学生	指導教官
自動車用ディーゼル機関における食用廃油の燃焼について	小丸 拓也 山下 洋祐 (E)	篠原 昌宏 秋葉 貞洋
見張り不十分の分析	田淵 晋也 浜中 一浩 (N)	中家 修
帆装商船の帆の積極的利用 II	徳永 順 浜咲 昭雄 (N)	高岡 俊輔
Al-Mg 合金5083板の降伏曲面に及ぼす温度の影響	上井 博明 木床 聡 (E)	中 哲夫
高分子ゲルを用いた水の性質とその構造	村上 豊 (E)	村上 知弘
高分子ゲルを用いた再利用可能吸水シート	松本 大輔 (E)	村上 知弘
弓削丸の単錨泊中の振れ回り運動と錨鎖張力について	齋藤 克浩 山川 達治 (N)	堀 富士男
海上 container についての研究	竹林 君孝 原田 翔也 (N) 村上 伸一	高木 一二
ピッチングマシンの制作	村上 直也 山本 桂司 (E)	多田 勝
ラップ面の観察	山岸 悠樹 (E)	友田 進
品質工学を用いたラッピング	今井 啓介 西谷 勇二 (E)	友田 進
小型船用 AIS に関する研究 (1) —陸船間における無線 LAN の性能評価実験—	川原 義裕 (N) ランセスランディ	多田 光男 松下 邦幸
救命筏による漂流実験	高田隆太郎 花井 智昭 (N)	地本 直弘 豊田 利彦
燧灘の連続海洋観測について	十亀 宏輔 (N)	二村 彰

商船学科席上課程修了式

平成14年9月19日(木)午後、本校階段教室において商船学科5年生の席上課程修了式が開催された。修了式には商船学科5年生航海コース16名（含む留学生1名）、機関コース10名（含む留学生1名）、計26名全員が参加し、西垣校長、小川教務主事、中家商船学科長をはじめ教職員が臨席した。

はじめに西垣校長や小川教務主事から「大型練習船でもしっかりとがんばってきてください」、「実習での成果を期待しています」とそれぞれ激励の言葉が述べられ、5年生を代表して山本圭司君が「がんばってきます」と答え、15分ほどで滞りなく終了した。

その後、中家商船学科長、友田商船学科5年担任、堀富士男教官、卒業生の金子大輔君などから実習上の諸注意がそれぞれ伝達、アドバイスされた。



大学編入学内定状況

商船学科

東京商船大学商船学部商船システム工学課程
航海学コース

東京商船大学商船学部商船システム工学課程
機関学コース

豊橋技術科学大学工学部機械システム工学課程
神戸商船大学商船学部商船システム学課程
航海学コース

神戸商船大学商船学部商船システム学課程
航海学コース

神戸商船大学商船学部商船システム学課程
航海学コース

神戸商船大学商船学部
輸送情報システム工学課程

神戸商船大学商船学部商船システム学課程
機関学コース

東京水産大学水産学部海洋生産学科

電子機械工学科

豊橋技術科学大学工学部電気・電子工学課程

豊橋技術科学大学工学部知識情報工学課程

情報工学科

九州工業大学工学部電気工学科情報工学コース

九州工業大学情報工学部制御システム工学科

九州工業大学情報工学部制御システム工学科

電気通信大学電気通信学部情報工学科

立命館大学理学部情報学科

弓削商船高専編入学試験

本校電子機械工学科及び情報工学科4年次編入学試験が平成14年8月27日(火)に実施された。

応募状況は、電子機械工学科4名(含む推薦1名)、情報工学科3名(含む推薦1名)、計7名であった。面接試験や学力試験の結果、7名全員が合格した。

合格者の出身高等学校は、松山工業高等学校(愛媛県)、鳴門工業高等学校(徳島県)、熊本工業高等学校(熊本県)、文徳高等学校(熊本県)となっている。

インターンシップ

「夏季工場実習指導を終えて」

情報工学科4年担任 長尾和彦

夏季工場実習は航海実習に並ぶ4年生の大きなイベントである。最近では、インターンシップなどと呼ばれ、学生と会社のマッチングシステムとして定着しているようにも報じられている。しかし、本校の立地条件などを考えると、そんなに甘いものではない。そこで、会社実習先を探すことを就職活動の模擬体験として位置付けた。

「自分を売り込め」：会社の実習依頼を出すとき、全員に自己PRの作文を義務付けた。そのためには、会社の業務内容を把握しなければいけないし、何よりまともな文章を書かなければならない。そのために4月から朝の読書を課してきたのである。また、自分のどこがPRできるかということを考えることはよいことだと思う。みな、日常の中からきらりと光るものを見つけてくれた。甲斐あって、この不況にも関わらず多くの学生が実習を体験し、大きな問題もなく終了することができた。受け入れてくれた企業の方々には感謝するばかりである。そして、学生に今一度尋ねたい。その経験を活かしているか？
本番まで後数ヶ月。



「インターンシップを終えて」

電子機械工学科4年担任 瀬瀬喜信

初めて4年生のインターンシップを担当としてお世話させてもらうこととなり、不安と緊張が交錯するなかスタートし、様々なトラブルに見舞われながらも先輩の教官方や事務官方の協力のもとなんとか終了することができました。

実社会における人間関係や社会構造、高度な技術や知識に直接ふれ体験することで、専門能力および実務能力を高め、自己能力と職業適性を把握することがインターンシップの目的であり、学生にとって将来へのキャリア形成のための学習意欲を喚起するすばらしい機会になったと思います。

社会の変化に応じて、インターンシップ制度が企業と学生の双方にとっていい方向に向かうように学校が企業との連携を深めていくことが重要だと思います。



実習企業一覧

電子機械工学科

アイメックス	翼システム
内海造船	イワキテック株式会社
アイメックス	三菱重工 高砂製作所
四国電力	中国電力
愛媛工業技術センター	豊橋技科大
中国電力	前川製作所
尾道ケーブルテレビ	日立造船
カスタムインダストリー	内海造船
日立造船	イワキテック株式会社
ケイラインエンジニアリング	晃和自動車
四国電力	宅間螺子(らし)製作所
中国電力	マツダ
日立造船	技研電子
カスタムインダストリー	マツダ
愛媛工業技術センター	前川製作所
豊橋技科大	技研電子
日立造船	富士電機システムズ
日立造船	晃和自動車
西機電装株式会社	東レ
村上秀造船	村上秀造船
イワキテック株式会社	

情報工学科

海洋技術安全研究所	翼システム
海洋技術安全研究所	NHK 松山放送局
海洋技術安全研究所	日信電子工業
海洋技術安全研究所	菱友システム技術
応用技術	菱友システム技術
応用技術	菱友システム技術
愛媛大学	西機電装
愛媛大学	アジア航測
愛媛大学	アジア航測
豊橋技術科学大学	南海電設
豊橋技術科学大学	技研電子
今治枝堀児童館	東レ
今治悠々館	国際航業
伯方福祉センター	クラウン樹脂加工
愛媛県繊維産業試験場	株式会社東芝
翼システム	

実習受講者の感想

「インターンシップの感想」

電子機械工学科 4年 脇坂 健司

私は、7月22日から8月2日までの間、東レ株式会社に夏季実習に行ってきました。会社に行くまでは、不安でいっぱいでした。名前はよく知っているけど、何を開発し、何を作っているかさえ知りませんでした。実際行ってみると800ボルト

まで耐えられる樹脂やいろいろな用途に対応できるとも高精密なプラスチックなど開発していました。何より心に残ったことは、私達にいろいろなことを教えてくれた社員の人達とのかかわり合いでした。会社に行ってみただけなら会社のすごさは知ることができないと思います。しかし、私は実習に行っただけから社会人になるまで、私達が何をしていくべきか東レの社員の人達に学んだような気がします。これから社会人になっていく上で、この経験を生かしていきたいと思っています。



「インターンシップの感想」

情報工学科 4年 白石 秀忠

僕は、8月5日から9日まで、NHK 松山放送局で実習を行ってきました。実習内容は、放送業務について講義を受けて、現場を見学したり、実際に自分たちで放送業務を行ったりしました。

マスコミという特殊な職場での実習ということで、少し不安もありましたが、放送業務に興味がある自分にとっては、期待の方が大きく、新たな知識を得たり、質問をしたりと充実した時間を過ごせたと思います。また、実習では、学校では得ることが出来ない仕事に対する意識・責任感などを感じ、学生という身分がいかに甘えているかということを実感しました。これから先、実習で得たことを役立てていきたいと思っています。



資格試験等合格者

パーソナルコンピュータ利用技術認定試験

3級

I 4 越智 仁美, 小林 美保, 白石 秀忠
砂川 香奈, 津田 智絵, 山根美円子

I 3 井原 知美, 川田 智章

4級

I 4 野間かゆり

I 3 大磯 春奈, 大賀 亜衣, 岡野かおり
谷 加奈子, 宮森 友美, 宮脇 芽依
村上 知子, 森濱 千絵

I 2 越智 文郁, 片岡 裕雅, 片山真由美
加藤 裕之, 小原 賞子, 小牧 洋介
佐伯 拓郎, 真田 優姫, 澤村 智也
月原 祥太, 津國恵梨奈, 九十九奈々絵
鳩野 利英, 林 真平, 平山 裕高
福崎 泰志, 藤原 大輔, 松浦 悠
松葉 正剛, 宮内 美咲, 宮地 啓太
村上佐枝子, 村上 友美, 村上 秀人
村上 真希, 村上 幸範, 村山 裕樹
矢野 沙季, 山田敬太郎, 山本衣里佳
山本 真琴, 渡邊 文浩

乙種第4類危険物取扱者試験

M 3 清水 陽介, 柳原 瞳

S 2 秋山 由樹, 高田 寛, 寺島 裕之
中塚 敦史, 平山 悠太, 藤岡 佐利
松下 大輔

海技士筆記試験

1級

S 5 松本 大輔, 村上 伸一

2級

S 5 木床 聡, 竹林 君孝, 徳永 順
山岸 悠樹

日本漢字能力検定

平成14年度 第1回

2級

M 4 松浦 克俊

準2級

M 2 大西 克孝, 木下つる代

I 2 片山真由美, 平山 裕高, 宮地 啓太

3級

I 1 岡野 朋恵

プログラミングコンテスト

「プロコンに参加して」

情報工学科5年 宮 地 里 佳

今回、私は二度目のプロコンに参加しました。

昨年の経験者としてリーダーを任され、その中でどのように振る舞い、どのように動けばいいのか。どのようにチームをまとめていけばいいのか。チーム作りの難しさを痛感しながら、結局まとめきれぬまま当日を迎えてしまいました。

1日目は、プレゼンテーション審査と一般デモンストレーションから始まりしました。

プレゼンでは、質疑応答で上手く答えることができませんでしたが、プレゼンテーション能力は高く評価してもらえたようで、少し救われた気持ちになりました。

その後デモ会場に戻ると、意外にも学生からの評判がよく、システムもしっかり動いていたので、もしかしたらデモで逆転できるかもしれない。そんな淡い期待を抱きながら2日目を迎えました。

2日目はデモンストレーション審査とマニュアル審査です。残念ながら、デモ審査で伝えたいことを上手く伝えられませんでした。また、審査員が考えていたシステムと私たちが作ったシステムにはコンセプトのずれがあり、どのように説明をしても未完成な作品としか見えなかったのかもしれない。

結局、結果は敢闘賞に終わってしまいました。が、今年、そして昨年と、プロコンを通して学んだ経験は、自分の力になったと思います。

最後となりますが、お世話になった教官方へ、どうもありがとうございました。



クラブ活動状況

全国高校囲碁選手権大会

電子機械工学科 1 年 峯 松 昌 彦

僕は全国大会に出場して、全国のレベルの高さと自分の精神面の弱さを痛感しました。

東京に着いて、まず昼食をとりました。ネギラーメンを注文したら、何か赤いラーメンが出てきました。とても辛くて、食べた後 1 時間ぐらい舌がひりひりしていました。



その後、少し道に迷いながら日本棋院に着いて、男子の団体戦を観戦しました。対局者の周りに人がたくさんいて、背伸びをしながら対局を見ました。僕も明日こんな雰囲気の中で対局をするんだという実感が少しずつ湧いてきました。

その後、日本棋院の中の本屋で詰め碁と定石の本を買ってホテルに帰りました。

次の日、いよいよ決戦の日ということもあって、朝から少し緊張ぎみでしたが、今日は絶対に勝とうと気合を入れてホテルを出ました。

日本棋院に着いてから、男子団体の決勝戦を見ました。昨日よりもさらに人がたくさんいて、張り詰めた雰囲気がただよっていました。次は団体戦も全国に出場したいと思いました。

そして、いよいよ男子個人戦が始まりました。しかし、対局開始 5 分前くらいからどんどん緊張してきて、平常心を失い、自分の碁が打てませんでした。序盤からあせって相手の陣地に打ち込んでいってその石が取られ、劣勢になりました。その後はほとんど何も考えることができず、相手の打つ手がすごくいい手に見えて、逆に自分の打った手は悪い手に見えてきて、相手が悪い手を打つてもとがめることができませんでした。相手のミスで自分が優性になっても、そんなことを考えている余裕はなく、結局最後は自分でも信じられないようなミスをして、負けてしまいました。

平常心を失って、自分の碁が打てなかったのが一番くやしかったです。

それでも、全国大会に出場したことは自分にとって本当にいい経験になったと思います。全国大会が終わって 2 ヶ月ぐらいたつけど、自分でも棋力が上がったのが実感できるし、精神的にも成長できたのでよかったです。



各大会のクラブ写真



女子テニス（全国大会）



陸 上（全国大会）



サッカー（全国大会）



柔 道（四国大会）



陸上競技（四国大会）



陸上競技（愛媛県総体）



ヨット（国体）



水 泳（四国大会）



野 球（四国大会）

クラブ活動成績

〔第56回愛媛県高等学校総合体育大会〕

〔陸上競技〕

期 日 平成14年 6 月 1 日(土)～ 3 日(月)

場 所 愛媛県総合運動公園陸上競技場

成 績

5000m 18位 藤本 進矢(I 3)16分43秒08

4 × 400m

15位 岩本 祐輔(S 3)3分32秒25

柏原 正樹(M 3)

益濱 弘(M 2)

長谷川将司(I 3)

走幅跳 15位 赤瀬 涉(S 2) 5 m79

女子100m

予選落 峯松 順子(M 3) 13秒04

女子200m

予選落 峯松 順子(M 3) 27秒86

女子やり投

3 位 早柏ちひろ(S 3) 37m71

予選落 鳳 翔子(I 1) 18m

女子砲丸投

予選落 早柏ちひろ(S 3) 8 m38

〔卓 球〕

期 日 平成14年 6 月 1 日(土)～ 3 日(月)

場 所 済美高等学校体育館

成 績 個人戦

ダブルス 1 回戦敗退

苅田 斉之(I 3)・馬越 達也(M 3)

〔バドミントン〕

期 日 平成14年 6 月 1 日(土)～ 3 日(月)

場 所 松山北高等学校体育館

成 績 団体戦 男子 1 回戦敗退

〔テニス〕

期 日 平成14年 6 月 1 日(土)

場 所 松山市中央公園テニスコート

成 績 男子団体戦 2 回戦敗退

〔剣 道〕

期 日 平成14年 6 月 2 日(日)

場 所 松山商業高等学校体育館

成 績 団体戦 1 回戦敗退

〔柔 道〕

期 日 平成14年 6 月 1 日(土)～ 2 日(日)

場 所 県武道館

成 績 団体戦 3 回戦敗退

〔第55回四国高等学校陸上競技対抗選手権大会〕

期 日 平成14年 6 月 14日(金)～ 15日(土)

場 所 香川県立丸亀競技場

成 績

女子やり投 7 位 早柏ちひろ(S 3)37m71

〔第84回全国高等学校野球選手権大会愛媛大会〕

期 日 平成14年 7 月 18日(木)

場 所 今治市営球場

成 績 1 回戦敗退

(5 回コールドゲーム)

弓削商船	0	0	0	0	0	0
------	---	---	---	---	---	---

宇和島東	4	5	6	2	×	17
------	---	---	---	---	---	----

〔第39回四国地区高等専門学校総合体育大会〕

期 日 平成14年 7 月 19日(金)～ 21日(日)

主管校 詫間電波工業高等専門学校

成 績

種目 / 順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
陸 上 競 技	高知	詫間	弓削	阿南	新居浜	高松
バレーボール男子	高松	高知	詫間	新居浜	弓削	阿南
バレーボール女子	高知	詫間	阿南	新居浜	弓削	—
ソフトテニス	新居浜	高知	阿南	詫間	弓削	高松
卓 球	新居浜	高知	弓削	高松	詫間	阿南
サ ッ カ ー	新居浜	弓削	高知	高松	詫間	阿南
バスケットボール男子	高知	新居浜	高松	詫間	阿南	弓削
バスケットボール女子	新居浜	詫間	高松	阿南	高知	弓削
柔 道	阿南	高松	弓削	新居浜	詫間	—
剣 道	高知	新居浜	阿南	弓削	高松	詫間
硬 式 野 球	高松	弓削	高松	阿南	新居浜	詫間
水 泳 競 技	詫間	高松	高知	阿南	新居浜	弓削
テ ニ ス	新居浜	詫間	高知	高松	阿南	弓削
バドミントン男子	新居浜	高松	高知	詫間	阿南	弓削
バドミントン女子	新居浜	阿南	高松	詫間	弓削	—
ハンドボール	高知	高松	—	—	—	—
総 合	高知	新居浜	高松	詫間	阿南	弓削

種目別(本校選手の主な成績)

〔水泳競技〕詫間電波工業高等専門学校

200mバタフライ

3 位 山口 慎吾(S 4) 3 分10秒42

〔陸上競技〕詫間電波工業高等専門学校

200m 4 位 小森 友寛(I 5) 23秒76

400m 優勝 長谷川将司(I 3) 52秒81

2 位 柏原 正樹(M 3) 53秒16

1500m 2 位 藤本 進矢(I 3) 4 分17秒69

5000m 3 位 藤本 進矢(I 3) 16分33秒53

4 × 400mR

優勝 岩本 祐輔(S 3) 3 分37秒83

柏原 正樹(M 3)

長谷川将司(I 3)
小森 友寛(I 5)

女子100m
優勝 峯松 順子(M 3) 13秒24

女子800m
2 位 松野 祐果(I 4) 2分38秒70

女子砲丸投
優勝 早柏ちひろ(S 3) 8 m20

[卓 球] 観音寺市立総合体育館

女子個人戦
シングルス 2 位 佐竹 蘭(I 1)
ダブルス 2 位 佐竹 蘭(I 1)
藤本 文代(I 1)

[柔 道] 香川県丸亀武道館

男子個人戦
60kg級 3 位 村上 豊(S 5)
90kg級 3 位 足立 雅俊(S 2)

[硬式野球] 詫間町民運動場

準優勝

[テニス] 香川県営テニス場

女子個人戦
シングルス 優勝 古江 綾子(I 5)
2 位 尼子 順子(I 5)
ダブルス 優勝 古江 綾子(I 5)
尼子 順子(I 5)

[第37回全国商船高等専門学校漕艇大会]

期 日 平成14年 7 月12日(金) ~ 14日(日)
主管校 大島商船高等専門学校
成 績

カッター競技の部

A チーム 優勝 富山商船高専
2 位 鳥羽商船高専
3 位 広島商船高専
B チーム 優勝 広島商船高専
2 位 鳥羽商船高専
3 位 弓削商船高専

ヨット競技の部

総合優勝 大島商船高専

種目別成績

シーホッパー SR 級 優勝 大島商船高専
2 位 鳥羽商船高専
3 位 広島商船高専
FJ 級ソロ 優勝 大島商船高専
2 位 広島商船高専
3 位 大島商船高専
FJ 級デュエット 優勝 大島商船高専
2 位 広島商船高専
3 位 富山商船高専

[第37回全国高等専門学校体育大会]

サッカー

日 時：平成14年 8 月 8 日(木) ~ 11日(日)
場 所：鶴岡市小真木原公園東多目的広場
1 回戦

弓削商船高専 1 - 6 鹿児島工業高専

陸上競技

日 時：平成14年 8 月10日(土)
場 所：一関運動公園陸上競技場
4 × 400m R 予選敗退 3 分32秒45
200m 予選敗退
小森 友寛(I 5) 24秒54
400m 予選敗退
長谷川将司(I 3) 51秒71
400m 予選敗退
柏原 正樹(M 3) 53秒40
1500m 10位
藤本 進矢(I 3) 4 分19秒50
5000m 13位
藤本 進矢(I 3) 17分10秒94
女子100m 2 位
峯松 順子(M 3) 13秒34
女子800m 2 位
松野 祐果(I 4) 2 分24秒99
女子砲丸投げ 5 位
早柏ちひろ(S 3) 8 m52

卓 球

日 時：平成14年 8 月10日(土)・11日(日)
場 所：一関文化センター体育館
ダブルス
2 回戦敗退 佐竹 蘭(I 1)
藤本 文代(I 1) 組
シングルス
1 回戦敗退 佐竹 蘭(I 1)

水泳競技

日 時：平成14年 8 月10日(土)
場 所：いわき市民プール
200m バタフライ
予選敗退 山口 慎吾(S 4) 3 分30秒10

テニス

日 時：平成14年 8 月10日(土) ~ 12日(月)
場 所：仙台市泉総合運動場 庭球場
シングルス 2 位 尼子 順子(I 5)
シングルス 2 回戦敗退
古江 綾子(I 5)
ダブルス 優勝 古江 綾子(I 5)
尼子 順子(I 5) 組

第15回弓削丸洋上講座の概要

商船学科 多田 光男

去る8月24日、25日の両日、15回目となる弓削丸洋上講座が開講されました。今年は「燈台のある風景」と題して高松に寄港し、玉藻公園東隣にある香川県歴史博物館と男木島燈台資料館の見学を行いました。



本講座には今回17名（男性12名、女性5名）の参加者がありました。初めてという方が4名、2回目が3名、3回目が5名、それ以上の方が5名（最高は10回目）で、リピータの方に支援された講座という認識を再確認させていただきました。参加者の平均年齢は63歳で、40代の方は1名、50代は6名、60代は4名、70代5名、80代が1名という年齢構成でした。最高齢は80歳。逆に一番ヤングマンは40歳という分布です。

恒例の船上講義の内容及び講師は以下のとおり（講義順）です。

- (1)「超電導技術のお話」 校長 西垣 和
- (2)「百周年記念行事報告」 教務主事 小川 量也
- (3)「現代に生きる古典」 総合教育科 神谷 正彦
- (4)「地形図から見た弓削島」 弓削丸一等機関士 松永 直也
- (5)「弓削久司浦城山の由来」 弓削丸甲板長 山下司州夫
- (6)「瀬戸内海の風景の変遷」 情報工学科 塚本 秀史
- (7)「瀬戸内海の海上交通と海難」 商船学科 多田 光男

この2日間は天候にも恵まれ、快適な航海を過ごすことができました。企画する側としては、次のテーマに頭を痛めています。ぜひ機会あれば皆さん誘い合わせて、本講座にご参加ください。お待ちしております。



講座受講者の感想

洋上講座に参加して

伊予三島市 野村 尚明

私が弓削商船の洋上講座に初めて参加させて戴いたのは、1993年（平成5年）の第5回で、その回の行き先は小豆島・高松方面でした。前日から弓削に宿泊しましたが、思えば私が弓削に行ったのは、その時が初めてでした。



以来、今年で10回目。1回だけ、所用のため一日目の夕刻までの参加となってしまった回はありましたが、それ以外は全て参加させて戴いています。

私は地域の歴史・民俗に関心があるので、学校の実習船での瀬戸内海の航海、先生方の講義、各地の史跡・資料館の見学などは、とても興味深く、勉強になりました。特に倉橋島・下蒲刈島などの島々は、普段はなかなか訪れることのない地域で、良い機会となりました。また、講義時間外に、講師の先生方や、他の受講生の方々とお話しし、知己を得ることが出来たことも良かったと思います。

現在は弓削商船を退官されている阿部頼之先生が旧日本軍の兵器『風船爆弾』に関する講義をされた時には、後日、阿部先生と多田光男先生、それに生徒さんが私の地元の川之江に來られ、私が御案内して、戦時中に女学校の勤労奉仕で風船爆弾の「気球紙」を貼る作業をされた方をお訪ねしてお話を聞いたり、手漉き和紙工場の見学をしたりした事もありました。

毎年、受講生のために講座を計画され、実習船を出して下さる、弓削商船の教職員の皆さんには、いつも大変お世話になり、感謝しています。今後も、出来ましたらこの講座を存続して戴きたいと思います。

公開講座実施一覧表

年度	講座名	期間(日数)	時間数	受講対象者	募集人員	受講人員	備考
14	中級者のテニス教室	6月22日(1日)	3	市民一般	20	10	益崎, 外部講師
	子供絵画教室	7月23日～ 7月24日(2日)	4	小学校高学年	10	13	東
	中高年の健康教育講座	8月1日(1日)	2	市民一般	15	4	横田
	子供水泳教室	7月29日, 30日 8月1日, 2日 (4日)	8	小中学生	30	34	横田, 外部講師
	音楽教室	7月30日(1日)	4	小学校高学年	20	0	日下
	楽しい電子工作	8月8日(1日)	4	小学校高学年 ～中学生	8	9	葛目, 田房
	海の環境講座	8月10日(1日)	2	市民一般	20	35	小川, 外部講師
	第3回海洋体験講座	8月11日(1日)	6	中学生	20	6	小川, 多田光 高岡, 松下 外部講師
	第15回弓削丸洋上講座	8月24日～ 8月25日(2日)	16	市民一般	30	17	校長, 小川 神谷, 塚本 多田光, 松永 山下司

子供絵画教室の講師をして

図書係長 東 嘉 美

最初上司から、絵画教室の講師の依頼を受けた時はとまどった。芸術院会員の先生から指導を受けたことはあるが、教育などずぶの素人の私が、人様に教えるのはおこがましいと断った。しかしながら学校は予算不足であり、若い先短い身でもあり、学校のためになるならと思いボランティアでひきうけた。

当初対象は小学校高学年ということであったが、ふたをあけてみると低学年の子も多い。これ



は困った。どの辺にレベルをあわせるのか。しかし絵を描くのに年齢差はない。初日は、交互にモデルをさせながらクロッキーをやらせる。3分間はきついけどモデルの静止もつらい。とにかく画面いっぱい大きくのびのびと描かせる。線が生き生きとして気持ちがいい。子供はみんな天才だ。

とにかくあきないように、のらせて描かせるような心がけた。

2日目は、デッサンである。モチーフは、野菜とか果物の静物を描かせる。ものの見方、感じ方、何が描きたくて描くか、根本的なところを考えさせる。色をつけさせるところまでさせたいが、時間的に無理である。

たった2日間の講師であったが、これで絵画のエッセンスを伝えることは到底無理である。教えることは2度学ぶことであり、自分自身が惰性で描いていることが子供の真剣さから学べた。何事も毎日の修練が大事だということを話して、暑い夏の公開講座を終えた。

ロボットコンテスト ロボットコンテスト開催にあたって

電子機械工学科 中 山 恭 秀

本年度10月20日(日)、高専ロボコンの四国地区大会が、本校で開催されます。開催校ということで、大会に出場する選手・クルーの学生は、例年にも増して力が入っているようです。高専ロボコンは、“自らの頭で自由に考え、自らの手で作る”面白さを、みんなで共有しようというイベントです。大会の主役である出場選手・クルーには、存分にこの大会を楽しんでもらいたいと思います。また、大会運営に尽力いただいた職員の方々、運営をバックアップしてくれる学生、応援していただける観客の皆様も、大会本番を楽しんでいただければ、競技委員長として幸いです。最後に、大会運営のためにいろいろ走り回って、ご努力いただいた関係者の皆様に、感謝申し上げます。



全国高等学校 IT 簿記選手権大会



平成14年 7月14日、今治北高等学校で開催された第22回全国高等学校 IT 簿記選手権大会 IT 部門の本大会、新人戦に初参加した本校3年生及び2年生は、それぞれ3位、準優勝という好成績をあげた。本大会3位の3年生は、全国大会出場を果たした。

個人の部の成績は、以下の通りである。

本大会	5位	岡野かおり
	8位	井手由美子
	9位	吉川 祥子
新人戦	4位	片岡 裕雅
	6位	村上佐枝子
	7位	真田 優姫
	9位	小原 貴子

「IT 選手権に参加して」

情報工学科3年 井手 由美子

今回、初めて IT 選手権に参加しました。弓削高専からの出場も初めてだったので IT 選手権が一体どんなものなのか、どう勉強をすべきかという事など全くわからず1からのスタートでした。塚本教官の御指導の下で「問題を解き、わからない所は調べて覚える」という事を繰り返しながら勉強をしました。そうしていくうちに初めは散々だった点数も徐々に上がるようになり、四国大会では個人で



8位、団体では3位に入ることが出来ました。東京での全国大会では良い成績は残せませんでしたが、とても良い経験になりました。

今回の IT 選手権に出た事によって、勉強は積み重ねが大事という事がよくわかりました。私達は来年は IT 選手権には出場できませんが、これからは「シスアド合格」という目標に向かって頑張りたいと思います。今回、新人戦の団体で準優勝した2年生には来年の四国大会の本戦では優勝して全国大会へ行って欲しいです。そして全国大会でも良い成績を残せるよう頑張りたいと思います。

情報工学科3年 岡野 かおり

私にとって、この夏最大のイベントとなった IT 選手権。始まりは「資格をとるために勉強する癖をつけよう。」という、ほんの軽い気持ちからのスタートでした。

はじめて練習問題を解いたとき。自分の基礎知識の無さをひしひしと感じました。なにしろ初めて聞く単語が問題用紙にあふれていましたから。

生来怠け者の私から考えると、努力の末、やっ

てきた今治での予選当日。前日の模擬テストでの結果はがんばしくない上、他校の生徒がやたらと賢そうに見えて、結果だの全国大会だの考える事が出来る状況ではありませんでした。

それが...いったいどういうことでしょうか。まさか、こんな私が、全国大会？

予選まで努力はしましたが、自分で納得できるまでには達していなかったのです。それがいまだ一度チャンスを与えられ.....。

私は心の中でひそかに燃え上がりました。「これは、このようなチャンスは無駄にしてはいけません。今度こそ自分の納得できるまで勉強する！」と、予選から全国大会までの約2週間、勉強とアルバイトの両立に燃えていました。

そして。

問題用紙を見て。はじめて練習問題を解いたときを思い出しました。予選からのレベルアップっぷりに思わず微笑みがもれてしまいました。正確な点数は聞いていませんが、私の回答では50点厳しいのでは、と思います。

実力の違いでしょうか。そんな問題でも上位の人々は80点90点とっていました。所詮、私の勉強など付け焼刃だったのだなと感じました。

上位の方々との差はいったいなんなのでしょう。それはまあ、合宿組んで勉強したり、ハチマキをしたりなどと、気合負けしていた面もあったと思います。でもやはり、あの人たちは私が必死になってようやく思い出せるようなことを基礎知識レベルまで高めているのでは、と思います。やはり日ごろからの勉強がものを言うのでしょうか。

情報工学科3年 吉川 祥子

今回 IT 選手権に参加することに決めたのは、実はとても簡単な理由からでした。それは秋に行われるシスアド試験と出題範囲がほぼ同じだから、というものです。IT 選手権に参加することでシスアド試験が楽になるなら参加してみようかな位の軽い気持ちでした。

IT 選手権の問題は第1部、第2部に分かれているのですが、第2部の問題がとても難しく、今まで授業などで勉強した筈の範囲であっても、曖昧で忘れていたりややこしい内容であつたりして7割を正解することもなかなかできず、かなり苦戦しました。しかし、放課後の勉強を続ける事でなんとか点をとれるようになってきて、四国地区大会に臨みました。

結果は団体戦では惜しくも優勝できず3位だったのですが、私個人として四国地区個人の部で9位という成績をおさめる事が出来ました。発表された時は努力が目に見える形に現れたような気がしてとても嬉しかったのだけ覚えてます。

個人の部で10位以内に入ったため全国大会出場権を獲得し、東京での全国大会に参加しました。しかし、全国大会までに少しは勉強したと思っていたのに、それ以上の難しい問題が出題され、解けた自信がまったく持てませんでした。

全国大会は残念過ぎる結果に終わってしまいました。IT 選手権に参加する事で毎日の学習がどれだけ大切であるか、また難しいと感じる問題でも勉強すれば解けるようになるという事を感じとれたように思いました。

IT 選手権に参加して感じた事を大切にして、まずは最初の目的だったシスアド試験合格に向けてこれからも勉強していこうと思います。



留学生卒業旅行

情報工学科5年 ファルク

9月の3連休を利用して留学生の卒業旅行に参加しました。日本に留学するのは勉強だけではなく、日本の文化について学ぶことも目的のひとつです。お寺の町と言われる日本の古都、京都、また日本の最新技術で作られたユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）を見学することを希望し、大阪と京都を選びました。今年は、留学生4人と先生1人で旅行をして来ました。9月13日、皆で弓削を出ました。大阪に着いたのは夜の10時でした。次の日、朝早く起きてUSJへ行きました。アメリカのユニバーサル・スタジオを手本に作られたUSJを見学し、日本の技術水準の高さには大変驚きました。また、そこでは世界で最も有名な映画を作る技術を見るとともにスターたちのパフォーマンスも見ました。その中でウォーターワールド、ジョーズ、ターミネーター2、ジュラシックパークなどが面白かった。ターミネーター2の3Dは本物のような感じで感動しました。

USJを見て京都に着いたのは夜10時半です。京都駅の改札口を出てからしばらく歩いて外に出ましたが、駅のビルが長いことに気づきました。単に長いだけでなく、ユニークな構造を持つ魅力的な建物でした。もう夜遅くなったから直接ホテルに行きました。翌日、京都全体を半日で見学することができないので、できるだけ多くの名所に行くために観光バスを利用しました。5時間で4つか5つぐらいの名所を訪ねましたが、びっくりしたのはすべて“お寺”だということです。どうやら京都の観光地はこれだけらしい。その5つの中から一番印象に残っているのは金閣寺と清水寺です。特に清水寺からは京都の風景がみられます。

今回の旅行で日本についていろいろ学ぶことができました。そしてこの旅行は長い間私の記憶に残る印象的なものになると思います。



平成14年度 後期級長・副級長一覧

クラス・学年	級 長	副 級 長
商 船 学 科 1 年	瀧本 朋樹	島田 慶彦
電子機械工学科 1 年	平田 将樹	清水 啓介
情 報 工 学 科 1 年	荒井 仁	金山 優子
商 船 学 科 2 年	小野 邦弘	松下 大輔
電子機械工学科 2 年	西岡 雄大	道久 隆幸
情 報 工 学 科 2 年	村上 幸範	加藤 裕之
商 船 学 科 3 年	岡 直樹	森光 誠
電子機械工学科 3 年	田中 慶	越智 一晃
情 報 工 学 科 3 年	藤本 進矢	野間 悠助
商 船 学 科 4 年	平田 真也	佐々木洋平
電子機械工学科 4 年	箕島 和美	岸 輝
情 報 工 学 科 4 年	平松 厚之	宇野 洋平
商 船 学 科 5 年		
電子機械工学科 5 年	藤原 忠弘	古本 悠一
情 報 工 学 科 5 年	奥迫 洋紀	大出 幸子

校内体育大会

6月26日(水)校内体育大会が開催されました。当日は生憎の雨模様で、陸上トラックが使用できなくなり屋内競技中心の大会となりました。クラスでTシャツをデザインし着用している学生も多数おり、会場では学生達の元気な歓声がこだまする梅雨空を吹き飛ばす1日となりました。実施種目、競技の結果は以下の通りです。

種 目 ソフトバレー、バレーボール、
ドッジボール、フットサル

総合優勝 M 5

総合第2位 M 4 I 5



学寮大掃除

10月4日(金)に学寮で大掃除が実施されました。寮生会の主導のもと寮生全員が参加し、約1時間半にわたり日頃清掃が行き届かない場所を中心に清掃が行われました。



平成14年度 学 事 予 定 表

○授業日 開校日 ×休業日

11 月				1 月			
1	金	○	S4N 実験	1	水	×	元旦 冬季休業
2	土	×		2	木	×	
3	日	×	文化の日	3	金		
4	月	×	休日	4	土	×	
5	火	○		5	日	×	
6	水	○		6	月	×	
7	木	○		7	火	×	寮生帰寮
8	金	○	S4N 実験	8	水	○	全校集会(午前中短縮授業,午後平常授業)授業開始
9	土		四国地区総合文化祭(弓削 1/4/30と振替)	9	木	○	
10	日		瀬戸内三校漕艇大会(広島 1/5/1と振替)	10	金	○	M・I5 卒業試験時間割発表
11	月	○		11	土	×	創立記念日
12	火	○	S4N 航海実習	12	日	×	
13	水	○		13	月	×	成人の日
14	木	○	午前中授業,午後防災訓練 キャンパスクリーン	14	火	○	
15	金		商船祭準備	15	水	○	S1 航海実習
16	土		商船祭(5/2と振替) 弓削丸運航	16	木	○	推薦入学願書受付
17	日		商船祭(12/24と振替)学級懇談会 弓削丸運航	17	金	○	
18	月		商船祭後片付け	18	土	×	
19	火	○	S4E 航海実習	19	日	×	
20	水	○		20	月	○	4年就職講演会
21	木	○	(月曜日の授業)	21	火	○	M・I5 卒業試験
22	金	○	後期中間試験時間割発表	22	水	○	研究航海(5)
23	土	×	勤労感謝の日	23	木	○	(入学試験委員会)
24	日	×	ロボットコンテスト全国大会	24	金	○	
25	月	○		25	土	×	
26	火	○		26	日	×	推薦入学面接
27	水	○		27	月	○	
28	木	○		28	火	○	
29	金	○		29	水	○	入学試験委員会
30	土	×		30	木	○	教官会議(成績確認・推薦入学選考)
				31	金	○	
○18日 6日 ×6日(臨休 0日)				○17日 0日 ×14日(臨休 0日)			
12 月				2 月			
1	日	×		1	土	×	
2	月	○		2	日	×	
3	火	○	後期中間試験	3	月	○	入試学力検査願書受付 M・I5再試験 弓削丸入渠
4	水	○		4	火	○	
5	木	○		5	水	○	校内マラソン大会5~7限
6	金	○		6	木	○	M・I5 特別試験 校内マラソン大会予備日
7	土	×		7	金	○	
8	日	×		8	土	×	
9	月	○		9	日	×	
10	火	○		10	月	○	
11	水	○	S2A 航海実習	11	火	×	建国記念の日
12	木	○		12	水	○	(入学試験委会)
13	金	○		13	木	○	
14	土	×	研究航海(4)	14	金	○	後期期末試験時間割発表
15	日	×		15	土	×	リーダー研修
16	月	○		16	日	×	
17	火	○		17	月	○	
18	水	○	S2B 航海実習	18	火	○	M・I5 卒研発表
19	木	○		19	水	○	
20	金	○	午前中短縮授業 授業終了後全校集会・HR等(午後授業なし)	20	木	○	教官会議(M・I5 卒業認定)
21	土	×		21	金	○	
22	日	×		22	土	×	
23	月	×	天皇誕生日	23	日	×	入学者選抜学力検査
24	火	×	(11/17と振替)	24	月	○	
25	水	×	冬季休業	25	火	○	1~4年生後期期末試験
26	木	×		26	水	○	入学試験委員会
27	金	×		27	木	○	教官会議(入試選考)
28	土	×		28	金	○	入学試験合格者発表
29	日	×					
30	月	×					
31	火	×					
○15日 0日 ×16日(臨休 0日)				○19日 0日 ×9日(臨休 0日)			